

そして、一般質問に入らせていただきます前に一言、9月の1日の災害のことなんですけど、私は4時に久田方面の様子を見にいったんですが、4時から県の人たちはタクシーをたたき起こして対応してるんですよ、その崩れた場所に。それで、ブルドーザーが来たのが5時です。それで、決壊した場所が3カ所あったんですけど、それをずっと取り除いてくれて車を通してくれたんですけど、市の対応自体が全然あれしてなくて、市の職員が現場に来たのが12時過ぎです。私、あらゆる部落にもずっと聞いたんですけど、日掛とか全部。市の対応、市の職員が来たのが12時半、1時です。その間、何をしてたんですか、市の人たちは。

こういうときは、地域マネージャーというのがおるんですから、その人たちが対応できないのでしょうか。本当情けなかったです。県の職員はどんどん対応してくれよるに、市の職員だけが全然対応してないじゃないですか。いいかげんにしてくださいよ。給料もろうて何をしてるんですか。本当にあきれました。

そして、水道局のことですけど、水道が決壊して、もう全然朝から出ないもんで、12回ぐらい電話しました、水道局のほうに。ところが、今その決壊場所を修理をしてますと言われました。それで、その都度、私が電話する都度ずっとその崩れた場所に行ったんですけど、市の対応は全然あってないですよ。やっと来たのが1時半です。業者の人が来たのが。だから、そんな状態で対応の仕方が、電話が何と言うかと思うたら、今修理をしてますので、復旧はいつになるかわかりません。それをずっとテープレコーダーみたいに十何回言いました。

それで、私は怒って、次の日に水道局にどなり込んだんですけど、当たり前のことを、まだ今行けませんのでって言ってもらえば、みんなが全然期待しないんですよ。期待するような言い方をするんですよ。修理を今してますから、復旧はいつになるかわかりません。もうちょっと市の対応をちゃんとしてくださいよ。

以上です。

一般質問に入らせていただきます。

網代の埋立地の件が、前回6月の議会で時間がありませんでしたので、今回するようにしましたので、今後どのような計画を持ってあるかということです。

新病院のあり方についてなんですけど、2番目は。新病院のあり方については、市民の要望を病院側に市長に言っていただきたいと思いますので、答弁要りません。

3番目に、いづはら病院跡地利用についてなんですけど、私は議員になってから2年4カ月にわたり、厳原市民の一番注目している、いづはら病院跡地利用についてやってきましたが、きのうの委員長報告で、やっと来年の4月から無床診療所が開設ということで安心しているのですが、厳原市民には本当によかったと思っております。そして、頑張って、前回のような、和音が来るという期待させて、だめになったようなことは絶対しないようにお願いいたします。

市長に1つお聞きしたいのは、無床診療所ができた場合、もちろん透析もできるのかということをお答えください。

そして4番目には、大船越の野積み場用地に氷工場を建てて、11年間もの間、無断使用している会社に対し、竣功認可がおりたら、市長はどのような対応をされますか、お答えください。

もう一つ、ふれあい処つしまについてなんです、売店の店員が観光客が来店しても売ろうという態度が全然ないんですよ。それで、教育をやり直すべきだと思います。

そして、バスの券売機の件を出してたんですけど、協本議員が12月議会でやっておりますので、券売機のことを言ったところで無理だということですので、券売機の件は取り下げます。

以上です。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 3番議員の御質問に答えさせていただきたいと思います。

この私が今着用している服ということについて、県議会の人が尋ねてくれというふうなことだということでございます。

この9月議会が始まってから、私、この防災対応の服を着させていただいておるところであります。海難事故も、あのようなことでもございました。また、水難事故で、特に甚大な被害をこうむって、今なお地域の方たちが力を合わせて復旧に取り組んでいらっしゃる、特に瀬地区の皆様方がいらっしゃいます。

2日間、約250名、延べ250名のボランティアの方たちが瀬地区に入っていたことによりまして、ある一定の方向性が見えたというふうには区長さんは言っていますが、これから市民の皆様の手も借りながら、また自分たちの自助努力の中でも、瀬地区に今まで同様の元気の良い集落をつくりたいというふうなお話を区長さんからもいただいております。

そういうふうに、月曜までは向こうにも私も入らせていただきました。日々笑顔が少しずつ戻りつつあるとも思っておりますが、初日の状況、そして地域内の住家を壊さないといけないとか、いろんなことが今起こって、これから瀬の方たちが頑張っていこうとされている状況を考えたときに、私は今回、この会期中においては、この防災服で通させていただきたいというふうな思いを持っておるところであります。

もう一点の早朝からの今回の災害に対する行政側の対応があまりにも手ぬるいというふうな御指摘がありました。

確かに予報が夕刻にたしかに入ったというふうにも聞いております。それについては、時間雨量40ミリという予報でもございました。風も吹く、突風も出るかもしれないというふうな予報を夕方受けたというふうにも聞いております。

40ミリという予報を受けて、私どもの対応がまずかったのかもしれませんが。そして、夜のうちに110ミリという数値を、突然の豪雨が襲うというふうなことの対応、これについて、情報を収集する体制というのがきちんと整っていない中で遅れたのかもしれませんが。申し訳なく思っております。

もう一点、地域マネージャーのお話がありました。これにつきましては、特に瀬地区については、担当マネージャーが朝からずっと昼過ぎまで集落をくまなく歩きながら、情報をこちらに入れ込んでくるというふうなことも、担当地域マネージャーはしてくれたということを報告をさせていただきたいと思っております。

では、通告に従い答弁をさせていただきます。

1点目の網代埋立地の問題でございます。今後どのような計画があるのかという質問通告がっております。

これにつきましては、御存じのように、網代地区は比田勝港湾に入っております、この比田勝港湾整備につきましては、長崎県の主体工事として、平成11年度にマイナス7.5メートル岸壁とマイナス7.0メートル岸壁の整備に着手し、この平成22年度に岸壁が完成をいたしております。その後、県工事の岸壁背後の埠頭整備と並行して、市工事の港湾関連施設であります国内ターミナルを建設し、平成25年10月の供用開始により、国内線フェリー岸壁として利用者の利便を図っているところでございます。

埠頭背後の市の埋立用地部分につきましては平成21年度から、公共事業の残土を利用した埋め立てに着手し、一部残っておりました河川の流末部の埋め立てが平成26年度に完成いたしましたので、公有水面埋立竣功認可申請のための確定測量を実施をし、長崎県から竣功認可を受け、現在、新たに生じた土地の確認のための事前協議を行っているところであります。

埋立申請時、平成14年でございますが、このときの計画では、フェリーの大型化、ジェットフォイルの就航などで、港湾施設用地の整備とともに、都市再開発用地の整備も急がれた環境にあり、住宅用地や緑地広場を整備する都市再開発用地、漁獲した魚を加工するための施設を整備する水産関連施設用地としての計画がなされておりました。

しかしながら、社会情勢や水産業を取り巻く環境の大きな変化を踏まえて、整備の必要性については、地域住民や関係者と十分な協議を行い、用地の有効活用を図ってまいりたいというふうに考えております。

次に、2点目につきましては答弁不要ということでございますので、3点目のいづはら病院跡利用の問題でございます。無床診療所を開設するという、これにつきましては、特別委員会等での協議を進めさせていただいております。

また、御質問の中に透析の問題がありました。この問題につきましては、今話を進めており

ます法人等の間で、当初から透析の問題を掲げて協議を進めてまいりました。前回もこの場で、委員会の場に出したと思いますが、説明はさせていただいたところですが、透析につきましては、診療所のレベルといいますか、体制といいますか、それでは透析のいろんな病症ごとの急変の場合の対応というのが大変整えることは難しいというお話が返ってまいりました。そういう中、この透析につきましては、私どもも断念を現時点でしてるところでございます。

4点目の大船越の漁協近くの用地に氷会社を建てているのではないかという会社のことについて言及されましたが、この市の埋立地の無断占用という問題につきましては、平成26年第4回定例会の議案第115号の関連質問及び27年第1回定例会の一般質問の折に回答をさせていただきましたように、議員御指摘の漁港用地は埋立竣功認可が未完了の土地であります。

また、漁港用地は島内に136件ございまして、平成22年度より順次竣功認可申請の作業を進めております。この漁港用地につきましても、土地として登記するため、埋立竣功認可を受けるよう作業し、県と協議をしてまいりました。現在の状況といたしましては、確定測量を完了し、埋立竣功認可の申請書類について、県との事前協議を踏まえ、8月末に本提出をしたところでございます。

議員御指摘の漁港用地に係る建物の占用につきましては、埋立竣功認可後、議会の同意、登記等の諸手続が完了した後において、占用の経緯を確認し、法律、条例にのっとり、また県の指導等も仰ぎながら、漁協及び地域の関係者とも協議をし、用地の賃貸、建物の撤去を含め、総合的に判断して対応してまいりたいというふうに考えております。

次に、ふれあい処つしまについての問題でございますが、この施設につきましては、もう御案内のとおり、指定管理者制度によって管理をお願いをしてるところであります。この契約内容につきましては、施設の運営については、一般社団法人対馬観光物産協会に運営していただいております。運営に係る市からの委託料は直接的にはゼロ円でございます。

これは、観光情報館ふれあい処つしま条例及び施行規則で定める範囲内において、指定管理者のアイデアや努力により、平成31年度までの5カ年間で黒字化、自立運営を目指していただこうとするものでございます。

光熱水費等の維持費につきましては、観光案内業務や公衆トイレ等公共的部分が含まれていることもあり、一旦市が全額負担し、その30%相当を指定管理者から負担していただいているところでございます。

この施設につきましては、観光客をもてなしの心で出迎えるウエルカムゲートとして、平成27年の5月16日にオープンし、対馬の観光拠点として観光情報を提供していただくとともに、イベント等による地元特産品や文化をPRし、旅行会社などによる観光ツアーの誘客による利用客の確保、売上高の増加、地域振興などに深く関わっていただきたいと思っております。

そこにお勤めの職員さんの問題につきましては、今後も島外の道の駅等の研修や島内のスパーなどでの研修も行ってきたところでございます。しかしながら、まだ経験の浅い職員もおり、御指摘いただきました不十分なところにつきましては、指定管理者である一般社団法人対馬観光物産協会にお伝えし、サービスの向上を目指し、改善していただきたいと思っておりますので、御理解いただきますようお願いを申し上げます。

以上でございます。

○議長（堀江 政武君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 網代の埋立地からまず質問させていただきますが、今までは、埋め立てをする前は、漁師さんたちが船をつけてたんですよ。それで、地元の漁師さんたちにとっては、防波堤まで船がつけられるからとても便利だったんですけど、それを埋め立ててしまったもんだから、向こうのほうまで船を置きに行かんとだめで、大変で、掘った山積みした泥が、風が吹いたらずっと洗濯物や何かに飛んでくるわけですよ。

だから、それを早く解決してもらいたいということと、側溝がつくってあるんですけど、その側溝が非常に狭いんですよ。それで、上から流れきたのが、流れて戻れないんですよ、向こうにもう。全部ごみがたまって、臭くてたまらないんですよ。行って見てみたら、側溝がこれだけしかないんですよ。だから、海から流れてきたのが全部ここにたまるんですよ。だから、こういうのは、1回してしまってから、後からまたやり直すことはできないんでしょうかね。

それと、山積みしてるのが、これなんですよ、土砂が。これ。それで、風が吹いたら飛んでくるんですよ。だから、それを前回要望があつたんですけど、私が時間がなくてできなかったからですね。

それと、海から入ってくるのがこの状態なんですよ。だから、海から入ってくるほうは広いんですよ。奥がもう30センチしかなかったみたいなんです。これが。だから、ごみがこっちからこう入ってきたら、もう抜けきらんとですよ、これ。臭いわけですよ。だから、これどうにかならないもんですかね。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 網代の問題につきましては、今そのごみが堆積して流れ出なくて、におい等の問題が発生してるというふうな御指摘でございます。県のほうに、今の問題については、しっかりと伝えていきたいというふうに思います。（「お願いします」と呼ぶ者あり）

○議長（堀江 政武君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 第2番目の新病院のあり方についてですけど、市長に答弁は要りませんので、一応市民の要望を聞いてまいりましたので、そのことを病院側のほうにも言っていただきたいと思っております。

入院患者の人からの要望なんですけど、いつはら病院のときより食事がまずくなつたそうです。それ何でかということで、私、院長と事務長にお伺いに行ったんですよ。そしたら、向こうからお米もとってるらしいんですよ。それで、地米は高いから向こうの米を使ってますと。食材も向こうからですよ。だから、ものすごい食事がまずくなつたみたいです。それももうちょっとどうにかしていただけないかということです。

あと、眼科の先生のことなんですけど、大山のほうから83歳のおばあちゃんが、福岡のほうの眼科で手術して、1年前に紹介状を書いていただいて、眼科の先生宛てに紹介状書いてもらって、それからずっと眼科の先生に診てもらってるらしいんですけど、それが1年過ぎてもあまり見えが悪いから、先生、これはどうしてでしょうかというて聞かれたそうです。そしたら、83歳にもなって運転免許を取るのか。私みたいなやぶ医者で診てもらわんで福岡行きなさいという答弁が返ってきたそうです。そういうことを、名前もここで出していいですけど、そういうことを医者が言うべきやないと思いますよ。83歳にもなって運転免許を取るのか。でたらめじゃないですか、この病院のやり方が。

もう一つ、8月7日の10時40分に病院に着いた人が、そのときに熱が38度9分あったらしいんですけど、10時40分には受付の人に、現在1,050人ですと言われ、今からだともう夕方になりますよということで、諦めて帰ってあるんですよ。

だから、そういう事例がいっぱいあるんですよ。

そして、同じ8月7日に、豆殿から救急車でけがをして運んであるんですけど、15針以上縫ったけがですが、こちらの病院ではこれではできないから、一応仮縫いをしておきますから向こうの病院に行ってくださいということだったらしいんですけど、私はその方を空港まで送りましたが、洋服の仮縫いは聞いたことがあるんですけど、人間を仮縫いをしてるんですよ。だから、そういう人間の仮縫いとかはやめていただけないかという要望を出してください。

そして、医療に対して、市民の方々が不安にならないように医療対策に努力をしてもらいたいと思うんですけど、今の新病院はもう不満だらけなんです。どうにかありませんか。

そして、医療対策はもちろんできてないのに、また博物館の計画を市長は入れてあるみたいなんですけど、これは後回しにして、医療対策から先にやっていただけませんか。博物館やなんかもつてのほかですよ。韓国人というのは、お金を払ってから入りませんよ。今のふれあい処つしまでも、毎日、私は行って様子を見てますけど、お客さんは1人もおりませんよ。あれは4億もかけてつくって、失敗ですよ、市長のあれは。また博物館をつくるんですか。

大船越の野積み場用地のことなんですけど、私は、11年間もの間、無断使用してありますので、前市長に許可を出してあるかなと思って、前市長に電話をかけて聞いてみました。そしたら、担当課に許可はないはずだと。許可の書類はないはずだと。それで、許可は出しておりませんとい

うことですので、このことはちゃんともう、バッチつけた人がこういう不正なことをしてから恥ずかしいんじゃないですか。

あの部落の人たちはどんなに言ってますか。部落の人たちが小屋みたいなのを建てとつたらしいですけど、野積み場用地には建物はできませんということで、全部解かされてるんですよ。そして、その周囲は我が物顔で、もうごみの山ですよ。

この前、担当課と行って見てきましたけど、網やなんかにみずっと草が生えてしまってるんですよ、もう。それを、まだその網は使う使うってずっと言ってあるらしいんですけど、本当にごみの山ですよ。我が物顔であの辺を全部使ってますけど、あんなのもちゃんと市のほうで、竣功認可が出たらぴしゃっとしていただきたいと思いますので。

このことを私は3月の一般質問でやったんですけど、本人から、あそこのごみを置いとる場所は、おまえの顔より美しいと言われました。それで、私は本当、そんな暴言を吐かれていますので。私の顔よりあのごみ屋敷が美しいそうなんです、本人からしたら。大体市民の代表たる議員がこんなことをするべきじゃないと私は思います。

それと、きのうの行政報告のことですけど、これは通告外ですけど、市長の後継者を出すということで、7人の会派にお伺いを立てて、その7人の会派のほうに、私が出ますからということで電話がかかってきてるみたいですけど、その方から。

財部市政は8年間で終わらせてくださいよ。市民はもう本当に懲り懲りしてるんですよ。あなたの8年間で。企業誘致も引いてくることはせん。人口は減る。若い者はどんどん向こうに出てしまう。あなたは、市民の言うことも議会の言うことも耳にせんで、こういう無駄遣いをしたじゃないですか。全然聞いてくれないじゃないですか。それやとに、また今度の市長もあなたのロボットですか。あなたがずっと後ろからロボットで支えるんですか。

○議長（堀江 政武君） 入江議員、発言には気をつけて願います。

○議員（3番 入江 有紀君） そやけん、それは本当もうやめてくださいよ。あなたが選ぶのは、みんなに報告をする前から、7人の会派だけに言って、私たちは21人議員はおりますよ。それやとに相談も何もせんでおいて、7人の会派だけに言って、この方を出しますから、よろしくお願ひします。あんまりじゃないですか、これは。議会も何もばかにしてるんじゃないですか、あなたは。

そして、大体行政上がりとか、一般の市民は無理ですよ。今のこの落ち込んだ8年間の対馬市を救い上げるには、上とのつながりとか、代議士とのつながりのある人じゃないと、今のこの落ち込んだ対馬市を支えることは無理ですよ、もう。だから、それを考えて、次の市長にはそういう人を選んで、対馬市を守り立ててもらおうようにしてもらわんと、あなたがこの8年間でだめにしたんじゃないですか。

○議長（堀江 政武君） 入江議員、不穏当な発言も見受けられますので、発言には気をつけてください。

○議員（3番 入江 有紀君） それで、もうちょっと選ぶなら、ほかにも相談をして、私たち21人の議員は何なんですか。7人以外の議員は。市民から選ばれた議員ですよ、私たちは。それやとに何の相談もないで、自分で勝手に決めて、お願いしますの電話が来てるじゃないですか、候補者になる人から。何ですか、それは。こんな勝手なことをしてから。もう財部市政はやめてくださいよ、もう。

○議長（堀江 政武君） 入江議員、本来の通告した質問に戻ってください。

○議員（3番 入江 有紀君） 新しい市長に期待したいと思いますので、もうこれで一般質問を終わります。

○議長（堀江 政武君） 答弁はいいですか。

○議員（3番 入江 有紀君） いいです。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで、入江有紀君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 暫時休憩します。再開は11時10分からとします。

午前10時57分休憩

午前11時14分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

先ほどの入江議員の発言は、不穏当なことで議長が認めますので、発言の取り消しを命じます。
(発言する者あり)

入江議員が発言されたことは事実と反しますので、議長において発言を取り消します。(発言する者あり)

一般質問に入りますので。2番、小島徳重君。

○議員（2番 小島 徳重君） 会派つしまの小島徳重でございます。

質問に入る前に、1日未明に発生した、イカ釣り漁船転覆事故でお亡くなりになられた5名の方々に哀悼の意を表し、御冥福をお祈り申し上げます。

長年、海が生活の場であったベテランの船長さんでも避けることができなかった突然の天候異変であったと思われます。亡くなられた方々の無念さと、残された家族の方々の心痛を思うと言葉がありません。

金比羅丸の乗組員であった小島準市さんは、浅海中学校勤務時代の生徒で、純朴で誠実、人懐っこく、優しい性格でした。働き盛り、漁業後継者として今後の活躍が期待されていただけに残